

環境市民会議のあり方に関する アンケート結果

平成29年10月24日
武蔵野市環境政策課

第九期の実施頻度(2カ月に一度)は適当でしたか？

選択肢	回答数
多い	0
少ない	1
ちょうど良い	14

- ほぼ「ちょうど良い」と回答。
- 実地研修やテーマ・議論の状況によって実施頻度を調整することが必要、との意見もあり。

会議の実施時間(90分)は、適当でしたか。

選択肢	回答数
長い	0
短い	1
ちょうど良い	14

- ほぼ「ちょうど良い」と回答。
- 2時間が良いとする回答あり。

委員の数(19人)は適当でしたか？

選択肢	回答数
多い	5
少ない	0
ちょうど良い	10

- 5名が総数について「多い」との意見。
- 最適数については10～15名程度との回答であった。

会議で取り扱う内容の難易度についてどのように思いますか？

選択肢	回答数
難しい	4
易しい	0
ちょうど良い	10
その他	1

- 「難しい」と回答した中には、議題によって難易度の差があった、環境というテーマがつかみにくい、との意見もあった。

会議では十分に意見を発言できましたか？

選択肢	回答数
できた	8
できない	2
どちらとも いえない	5

- 十分発言できなかったとする意見の中には、会議の進行を阻害しないよう、また考えがまとまらないために発言できなかった、との回答あり。
- 活発な意見交換と効率的な会議進行のために、委員が何を話すかを事前に考える時間が必要、との提案も。

会議は発言しやすい雰囲気でしたか

選択肢	回答数
発言しやすい	9
発言しにくい	0
どちらともいえない	6

- 委員長が意見を求める等の配慮をしたため、発言しやすかったとする意見が多くあり。
- 専門外のテーマでは発言しにくい雰囲気であった、とする意見あり

企業のエネルギー施設や二俣尾の市の自然体験施設等の見学会・実地研修等は必要だと思いますか。

選択肢	回答数
必要である	15
必要ない	0
どちらとも いえない	0

- 回答を提出した委員すべて「必要である」と回答。
- 目で見て、体験することがより良い理解につながるとする意見があった。

課題・改善点及び市民会議の今後について ～進行に関する意見①～

- 委員が会議で出した意見をじっくり検討する時間があっても良かった。
- 会議の位置づけが分かりにくい。会議の役割や目的に沿って、会議進行も異なるのではないか。
- 市民や事業者がそのテーマに対してどのように関わるか、あるいはどういう関わりや施策が効果的かという本質的な意見交換や検討が少なかった

課題・改善点及び市民会議の今後について ～進行に関する意見②～

- 議題等についてグループワークを実施してもよいのではないかと。
- 専門的な話題では、オブザーバーを活用することも効果的。
- 専門用語等についての事前勉強会があれば、発言しやすくなるのではないかと。
- 早めに会議進行内容等が提示されれば、役立つ資料や見学など、情報提供を行える。

課題・改善点及び市民会議の今後について ～その他の意見～

- 若い世代の委員も入れたらよいのではないか。
- 会議日忘れによる、欠席を防止するため、前日連絡の希望あり。
- 事前に配布資料があるにも関わらず、当日同じものを配布するのはエコではなく、忘れた人だけ渡すようにしたらよいのではないか。
- メール添付書類。パスワードは必要か？